

別表 1

公募型プロポーザル方式評価項目及び評価基準表

本評価基準表は、福島県工業用水道事業中長期計画策定及び次期料金算定業務委託公募型プロポーザル方式において企画提案書を特定するための評価基準である。

本評価基準表において、次の事項を共通事項とする。

- 1 評価基準日は令和6年3月7日（木）（企画提案書の提出期限）とする。企業及び配置技術者の実績については、評価基準日までの履行実績とする。
- 2 実績とは、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（実績当時のもの）で規定される公共工事の発注者、土地開発公社、地方道路公社、地方住宅供給公社、下水道公社、土地区画整理組合、市街地再開発組合、土地改良区、公立大学法人福島県立医科大学又は公立大学法人会津大学が発注する業務の履行実績をいう。
- 3 同種業務とは、上下水道施設の中長期計画を策定するための業務、上下水道施設の管路更新計画等を策定するための業務、上下水道事業のアセットマネジメントを実践するための業務、上下水道料金の改定支援に係る業務をいう。
- 4 類似業務とは、上下水道事業の基本計画策定業務、経営戦略策定支援業務、公営企業の経営改善に関する業務をいう。

1 企業の実績

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点
企業の実績 5点	1 業務遂行技術力	・ 過去5年間に同種業務実績が3件以上ある場合	5点
		・ 過去5年間に同種業務実績が2件ある場合	4点
		・ 過去5年間に同種業務実績が1件または類似業務実績が3件以上ある場合	3点
		・ 過去5年間に類似業務実績が2件ある場合	2点
		・ 過去5年間に類似業務実績が1件ある場合	1点
		・ 上記に該当しない場合	0点
		評点	／5点
	傾斜	1	
	得点（評点×傾斜）	／5点	
	[評価基準]		<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価に当たっては、同種業務実績を優先とする。 ・ 設計共同体の場合は、代表者の実績を評価する。

2 配置技術者の技術力

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点	
配置技術者の技術力 25点	注1 下記の各配置技術者を評価対象とする。なお、担当技術者が複数名配置される場合、主たる担当技術者1名を評価対象とする。			
	配置技術者	a	管理技術者	
		b	担当技術者	
c		照査技術者		
a. 管理技術者の技術力	1 技術者資格	・ 技術士資格（総合技術監理部門「建設」又は「上下水道」）を有する場合	5点	
		・ 技術士資格（建設部門又は上下水道部門）を有する場合	3点	
		・ 技術士資格（建設部門又は上下水道部門以外の部門）を有する場合	1点	
		・ 上記に該当しない場合	0点	
		評点	／5点	
	2 実務実績	・ 過去5年間に同種業務実績が3件以上ある場合	5点	
		・ 過去5年間に同種業務実績が2件ある場合	4点	
		・ 過去5年間に同種業務実績が1件又は類似業務実績が3件以上ある場合	3点	
		・ 過去5年間に類似業務実績が2件ある場合	2点	
		・ 過去5年間に類似業務実績が1件ある場合	1点	
		・ 上記に該当しない場合	0点	
		評点	／5点	
	[評価基準]			
	・ 評価に当たっては、同種業務実績を優先とする。			
・ 設計共同体の場合は、代表者の実績を評価する。				
a 評点小計			／10点	
傾斜			1	
得点小計（評点小計×傾斜）			／10点	

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点	
b. 担当技術者の技術力	1 実務実績	・ 過去5年間に同種業務実績が3件以上ある場合	5点	
		・ 過去5年間に同種業務実績が2件ある場合	4点	
		・ 過去5年間に同種業務実績が1件又は類似業務実績が3件以上ある場合	3点	
		・ 過去5年間に類似業務実績が2件ある場合	2点	
		・ 過去5年間に類似業務実績が1件ある場合	1点	
		・ 上記に該当しない場合	0点	
		評 点	／5点	
	[評価基準]		・ 評価に当たっては、同種業務実績を優先とする。	
	b 評点小計		／5点	
	傾 斜		1	
得点小計 (評点小計×傾斜)		／5点		

c. 照査技術者の技術力	1 技術者資格	<ul style="list-style-type: none"> 技術士資格（総合技術監理部門「建設」又は「上下水道」）を有する場合 	5点
		<ul style="list-style-type: none"> 技術士資格（建設部門又は上下水道部門）を有する場合 	3点
		<ul style="list-style-type: none"> 技術士資格（建設部門又は上下水道部門以外の部門）を有する場合 	1点
		<ul style="list-style-type: none"> 上記に該当しない場合 	0点
		評点	／5点
	2 実務実績	<ul style="list-style-type: none"> 過去5年間に同種業務実績が3件以上ある場合 	5点
		<ul style="list-style-type: none"> 過去5年間に同種業務実績が2件ある場合 	4点
		<ul style="list-style-type: none"> 過去5年間に同種業務実績が1件又は類似業務実績が3件以上ある場合 	3点
		<ul style="list-style-type: none"> 過去5年間に類似業務実績が2件ある場合 	2点
		<ul style="list-style-type: none"> 過去5年間に類似業務実績が1件ある場合 	1点
		<ul style="list-style-type: none"> 上記に該当しない場合 	0点
		評点	／5点
	[評価基準]		
	<ul style="list-style-type: none"> 評価に当たっては、同種業務実績を優先とする。 		
	c 評点小計		／10点
	傾斜		1
	得点小計（評点小計×傾斜）		／10点
合計（a+b+c）		／25点	

3 業務実施方針

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点	
業務実施方針 20点	1 業務内容の理解度 本業務の目的や業務内容を理解しているか。	・ 十分理解している場合	5点	
		・ 概ね理解している場合	4点	
		・ 一定程度理解している場合	3点	
		・ 理解がやや不十分である場合	2点	
		・ 理解が不十分である場合	1点	
		評点	／5点	
		傾斜	2	
		得点 (評点×傾斜)	／10点	
	[評価基準]			
	・ 評価は絶対評価とする			
	2 実施手順 本業務を実施するうえで適切な手順となっているか	・ 業務実施手順の妥当性が高い場合	5点	
		・ 業務実施手順の妥当性がやや高い場合	4点	
		・ 業務実施手順の妥当性が一定程度高い場合	3点	
		・ 業務実施手順の妥当性がやや低い場合	2点	
		・ 業務実施手順の妥当性が低い場合	1点	
		評点	／5点	
		傾斜	1	
		得点 (評点×傾斜)	／5点	
	[評価基準]			
	・ 評価は絶対評価とする			
3 工程の妥当性 業務を円滑に実施できる工程であり、進捗管理体制が適切か	・ 各工程で想定される業務量が工程に反映され、進捗管理体制が十分確認できる場合	5点		
	・ 各工程で想定される業務量が工程に反映され、概ね進捗管理が確認できる場合	4点		
	・ 各工程で想定される業務量が工程に反映され、一定程度進捗管理が確認できる場合	3点		
	・ 工程の妥当性がやや不十分である場合	2点		
	・ 工程の妥当性が不十分である場合	1点		
	評点	／5点		
	傾斜	1		
	得点 (評点×傾斜)	／5点		
[評価基準]				
・ 評価は絶対評価とする				
		合計	／20点	

4 特定テーマに対する企画提案

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点	
特定テーマ に対する企 画提案 70点	1 特定 テーマ 1 (1) 企画提案 【基本方針の策定】 事業の目的を達成 するのに十分な訴 求力があるか	<ul style="list-style-type: none"> 企画提案において、業務に必要な着眼点、問題点、解決方法等が確認でき、特定テーマに相応しい内容である場合 	5点	
		<ul style="list-style-type: none"> 目的が概ね達成できる提案である場合 	4点	
		<ul style="list-style-type: none"> 目的が一定程度達成できる提案である場合 	3点	
		<ul style="list-style-type: none"> やや不十分な提案である場合 	2点	
		<ul style="list-style-type: none"> 不十分である場合 	1点	
		評点	／5点	
		傾斜	2	
		得点(評点×傾斜)	／10点	
		(2) 企画提案 【管路更新計画】 事業の目的を達成 するのに十分な訴 求力があるか	<ul style="list-style-type: none"> 企画提案において、業務に必要な着眼点、問題点、解決方法等が確認でき、特定テーマに相応しい内容である場合 	5点
			<ul style="list-style-type: none"> 目的が概ね達成できる提案である場合 	4点
			<ul style="list-style-type: none"> 目的が一定程度達成できる提案である場合 	3点
			<ul style="list-style-type: none"> やや不十分な提案である場合 	2点
	<ul style="list-style-type: none"> 不十分である場合 		1点	
	評点		／5点	
	傾斜		2	
	得点(評点×傾斜)		／10点	
	(3) 企画提案 【整備内容の決定】 事業の目的を達成 するのに十分な訴 求力があるか		<ul style="list-style-type: none"> 企画提案において、業務に必要な着眼点、問題点、解決方法等が確認でき、特定テーマに相応しい内容である場合 	5点
			<ul style="list-style-type: none"> 目的が概ね達成できる提案である場合 	4点
			<ul style="list-style-type: none"> 目的が一定程度達成できる提案である場合 	3点
			<ul style="list-style-type: none"> やや不十分な提案である場合 	2点
		<ul style="list-style-type: none"> 不十分である場合 	1点	
		評点	／5点	
		傾斜	2	
		得点(評点×傾斜)	／10点	

	(4) 企画提案 【中長期計画の策定】	事業の目的を達成するのに十分な訴求力があるか	・ 企画提案において、業務に必要な着眼点、問題点、解決方法等が確認でき、特定テーマに相応しい内容である場合	5点		
			・ 目的が概ね達成できる提案である場合	4点		
			・ 目的が一定程度達成できる提案である場合	3点		
			・ やや不十分な提案である場合	2点		
			・ 不十分である場合	1点		
			評点	／5点		
			傾斜	2		
			得点(評点×傾斜)	／10点		
			(5) 実現性		・ 提案内容が十分具体的で実現性が高い場合	5点
					・ 提案内容が概ね具体的で実現性が高い場合	4点
	・ 提案内容が一定程度具体的で実現可能な場合	3点				
	・ 具体的で実現性の高い提案にはやや不十分である場合	2点				
	・ 不十分である場合	1点				
	評点	／5点				
	傾斜	2				
	得点(評点×傾斜)	／10点				
	(6) 独創性		・ 活用可能な追加提案や独創的な工夫にあふれている場合	5点		
			・ 活用可能な追加提案や独創的な工夫が十分ある場合	4点		
			・ 活用可能な追加提案や独創的な工夫が一定程度ある場合	3点		
			・ 活用可能な追加提案や独創的な工夫がやや不十分である場合	2点		
			・ 活用可能な追加提案や独創的な工夫は不十分である場合	1点		
評点			／5点			
	傾斜	4				
	得点(評点×傾斜)	／20点				
	合計	／70点				

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点	
特定テーマ に対する企 画提案 50点	2 特定 テーマ 2	(1) 企画提案 【中長期計画策 定に関する合意 形成】	<ul style="list-style-type: none"> 企画提案において、業務に必要な着眼点、問題点、解決方法等が確認でき、特定テーマに相応しい内容である場合 	5点
		<ul style="list-style-type: none"> 目的が概ね達成できる提案である場合 	4点	
		<ul style="list-style-type: none"> 目的が一定程度達成できる提案である場合 	3点	
		<ul style="list-style-type: none"> やや不十分な提案である場合 	2点	
		<ul style="list-style-type: none"> 不十分である場合 	1点	
			評 点	／5点
			傾 斜	2
			得点 (評点×傾斜)	／10点
		(2) 企画提案 【料金算定に関 する合意形成】	<ul style="list-style-type: none"> 企画提案において、業務に必要な着眼点、問題点、解決方法等が確認でき、特定テーマに相応しい内容である場合 	5点
		<ul style="list-style-type: none"> 目的が概ね達成できる提案である場合 	4点	
		<ul style="list-style-type: none"> 目的が一定程度達成できる提案である場合 	3点	
		<ul style="list-style-type: none"> やや不十分な提案である場合 	2点	
		<ul style="list-style-type: none"> 不十分である場合 	1点	
			評 点	／5点
			傾 斜	2
		得点 (評点×傾斜)	／10点	
	(3) 実現性 具体的で実 現性の高い 提案となっ ているか	<ul style="list-style-type: none"> 提案内容が十分具体的で実現性が高い場合 	5点	
	<ul style="list-style-type: none"> 提案内容が概ね具体的で実現性が高い場合 	4点		
	<ul style="list-style-type: none"> 提案内容が一定程度具体的で実現可能な場合 	3点		
	<ul style="list-style-type: none"> 具体的で実現性の高い提案にはやや不十分である場合 	2点		
	<ul style="list-style-type: none"> 不十分である場合 	1点		
		評 点	／5点	
		傾 斜	2	
		得 点 (評点×傾斜)	／10点	

	(4) 独創性 仕様書に記載されていない独創的な工夫や活用可能な提案があるか	・ 活用可能な追加提案や独創的な工夫にあふれている場合	5点
		・ 活用可能な追加提案や独創的な工夫が十分ある場合	4点
		・ 活用可能な追加提案や独創的な工夫が一定程度ある場合	3点
		・ 活用可能な追加提案や独創的な工夫がやや不十分である場合	2点
		・ 活用可能な追加提案や独創的な工夫は不十分である場合	1点
		評点	／5点
		傾斜	4
得点 (評点×傾斜)			／20点
合計			／50点

5 ヒアリング

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点
ヒアリング 50点	1 専門技術力等 説明内容が提案書の内容を補完しており、専門技術・専門知識を発揮してるか	・ 説明内容が企画提案書の内容をよく補完しており、専門知識を十分に発揮できると認められる場合	5点
		・ 説明内容が企画提案書の内容をよく補完しており、専門知識を概ね発揮できると認められる場合	4点
		・ 説明内容が企画提案書の内容を補完しており、専門知識を一定程度発揮できると認められる場合	3点
		・ 企画提案書の内容は十分であるが、説明内容がやや不十分であると認められる場合	2点
		・ 企画提案書の内容は十分であるが、説明内容が不十分であると認められる場合	1点
		評点	／5点
	傾斜	4	
	得点(評点×傾斜)	／20点	
	2 コミュニケーション力 企画提案の内容をわかりやすく説明し、質問に対する回答が明確で論理的か	・ 質問に対する回答が明快かつ迅速な場合	5点
		・ 質問に対する回答が概ね明快かつ迅速な場合	4点
		・ 質問に対する回答が一定程度である場合	3点
		・ 質問に対する回答がやや不十分である場合	2点
		・ 質問に対する回答が不十分である場合	1点
		評点	／5点
傾斜	2		
得点(評点×傾斜)	／10点		
合計			／30点

6 参考見積

評価項目	評価の着眼点	判断基準	配点
参考見積	業務コストの妥当性	・ 提示した業務規模と大きくかけ離れているか、又は提案内容に対して見積が不適切な場合には無効とする。	—